

藤嶺藤沢高校だより 6月号

藤嶺学園藤沢高等学校 〒251-0001 藤沢市西富 1-7-1
TEL 0466-23-3150 <https://www.tohrei-fujisawa.ed.jp/>
(文責：高校教頭 香西義之)

2023年6月20日(火)発行

探究活動

5月24日(水)に高校2年生を対象にした「探究学習」の「本講義」が実施されました。「探究学習」では生徒達が選んだテーマで課題を自ら設定したのち、調査・分析をしグループで解決策のプレゼンを行います。例えばグローバルのテーマを選んだあるグループは「日本で就労している外国人が抱える行政手続きの煩雑さ」を課題と設定し、外国人にわかりやすい書類の表記法等を解決策としてプレゼンしました。各グループはプレゼンの後にその分野のフロンランナーと言われる専門家の方たちからコメントを頂き、さらに考察を深めるためのヒントをもらっていました。一貫生と高入生が一緒になり活動に取り組む様はまさに指導要領にある「協働」の目標に叶うものでありました。



新課程から始まった「総合的な探究の時間」は「自分で課題を立て、情報を集め、整理分析をして、まとめ・表現することができるようにする」また、その過程の中で「必要な知識や技能を身につけ、主体的・協働的に取り組む」を目的としています。藤嶺藤沢の「探究」は高一で「茶道」や「学林」を中心に取り組みます。高二では今回実施したプログラムからスタートし、次のステップで「高大連携プログラム」「藤嶺探究ゼミナール」「課題設定からの探究活動」「インターンシップまたはジョブシャドウイング」の中から希望するものを選び、「探究」を深めていきます。「探究活動」によって身につくスキルは実生活・実社会で必ず必要とされるものです。生徒諸君が能動的にこのプログラムに取り組み、より実りのある成果を収めることを期待しています。

体育祭延期→仮装大会→体育祭代替行事開催

今年の体育祭は6月9日にコロナ前と同じスタイル、所謂フルスペックで実施予定でした。リハーサルまでは順調に予定を消化していましたが、本番当日の9日は荒天が予想され前日のうちに12日(月)への延期が決定されました。12日の天気予報はあまり良くなかったのですが、少々的小雨であれば実施の方向で考えていました。

実際に12日の朝6時くらいには雨は小康状態で予報も降っても小雨程度となっており、これ

なら開催可能と判断しました。ところが7時頃から本格的な雨となり道具搬入、音響機材のセッティング等ができない状態になってしまいました。開始を2時間遅らせましたが、天候の回復は見込めません。体育祭実行委員の生徒は恨めしそうに雨を眺めています。校長・教頭・大会委員長そして実行委員の間で意見を交わし、残念ながら準備もできない状態では時間的にも開催は不可能という判断に至りました。しかし、体育祭実行委員や準備してきた生徒のために「仮装」の



プログラムだけでも体育館で実施できないか模索が始まりました。体育祭実行委員達は急なことにもかかわらず、実現のためにプログラム内容、会場セッティング等の段取りをすませ「仮装大会」の実施にゴーサインが出ました。いざ蓋を開けてみれば仮装大会は大盛り上がり、会場は生徒達の笑顔であふれかえりました。しかし、実行委員は「仮装大会」の盛り上がりには満足したものの、終了後「不完全燃焼だなあ」と呟

いていました。

実行委員の諸君は体育祭実施予定日の3週間前くらいから毎日学校に遅くまで残り、グループ分け、種目の決定、ルールブックの作成、進行の方法等を考えてきました。その苦労を考えれば、彼らが自分たちで計画したものの一部しか行われなかったことを嘆くのは当然のことでした。大会委員長、実行委員長の「なんとか残りのプログラムを実施できないか」という要望に応える形で16日(金)に縮小形式「体育祭代替行事」を実施することが決定しました。

再び実行委員の諸君はプログラムの組み直し、また音響設備の見直しを迅速に行いなんとか今回の代替行事の実施に漕ぎ着けました。最後はまた雨天となりできなかった種目もありましたが生徒諸君は存分に楽しみ、そして実行委員の諸君達も達成感を間違いなく得られたのではないのでしょうか。



今回PTAのご協力を得てMVPや優秀選手に豪華な賞品が贈呈されました。しかし、PTA会長の須藤さんは実行委員長に「本当のMVPは君たち実行委員だ!」と仰っていました。本当にその通りだと思います。体育祭はPTA、カフェテリア、近隣住民の方々等様々な人たちからのご協力得て初めて実施できるものです。ご協力、ご理解頂いた皆様、そして体育祭実行委員の生徒諸君、本当にありがとうございました。